

広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想

101

蔵王山展望台から新エネルギー施設群を眺めてみよう！



■ 太陽光発電施設（ソーラーパネル）
○ 風力発電施設（風車）

皆さんは、リネューアルオープンした蔵王山展望台に行きましたか？老若男女が楽しめる新たな観光拠点施設となりましたが、この展望台は観光拠点としてだけでなく、もう一つ再生可能エネルギーのシンボル施設としての重要な役割があります。

4階の展望室からは、臨海エリアに広がる風力発電所やメガソーラーといった新エネルギー施設を眺めることができます。風力発電所とメガソーラーが同じエリアに集積しているのは全国的にも珍しい光景です。

年間を通じて安定した強い半島性の風が吹き、日射量も全国トップレベルである田原市の特徴を生かした新エネルギー施設の建設推進は、たはらエコ・ガーデンシティ構想に基づくものです。

●たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人2663人・事業所99カ所（9月末現在）

▼環境政策課

☎23局7401 FAX23局0180

🌐 <http://www.city.tahara.aichi.jp/>



ごみ減量化の一環として平成21年度からレジ袋を有料化しています。今回は、レジ袋削減の成果などについてお知らせします。



平成25年度の成果

●レジ袋購入辞退率 87・6%

●レジ袋削減枚数493万3762枚

↓ごみ量4万8844kgの削減

（L判のレジ袋1枚を9・9gとして計算）田原市の家庭43世帯が1年間に出すごみの量に相当します。

レジ袋削減から始めるごみ減量

ごみ減量に最も効果的な方法は、ごみを出さないことです。有料化によりレジ袋をもらいすぎない消費行動が、ごみになるものを買わない、もらわない心がけにつながります。

▶レジ袋を「内袋」として使う場合は、必要な分だけ！

生ごみや個人情報記載してあるごみを入れる内袋としてレジ袋を使う人も多いですが、もやせるごみの中には、そのまま捨てられているレジ袋も多く含まれています。レジ袋

は必要な枚数だけもらうか購入するようにし、それ以外はマイバッグを持参するようにしましょう。

レジ袋削減協定締結店舗

イオン田原店・酒蔵トウカイ、ジツ
ブドラッグ赤石店・田原赤石薬局・
赤羽根店・渥美薬局、スギ薬局田原
店、スーパーカネイチ、田原コープ
（株）磯田園・フレッシュミート、田原
めつくんはうす、パワーズ田原店、
フードオアシスあつみ田原店・福江
店、ヤマナカ田原店

※有料化によるレジ袋削減の趣旨をご理解いただき、参加を希望される事業者を募集しています。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

レジ袋の削減は、意識次第で実践できる身近なエコの一つです。皆さんも、マイバックでの買い物を始め試みてはいかがでしょうか。

▼清掃管理課

☎23局3538 FAX23局0180

🌐 <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

